

令和4年度入学試験問題（前期日程）

国語

出題意図及び正答

問題一

出題意図

常用漢字の読み書き、及び国語科の基礎知識として理解習得しておく必要がある用語について問うている。

正答

問一					問二				
1	2	3	4	5	順不同				
じゅうたい	お	しろと しらひと しらびと しろと	くちょう	あいしょう	吹	満開	井戸	遠望	一幅

問題二

出題意図

評論を素材として、論理内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することのできる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	ア	④
	イ	略
問二	略	
問三	略	
問四	略	

問五	略
問六	略

問題三

出題意図

小説を素材とし、文学的な表現内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することができる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	A	略
	B	略
問二	略	
問三	略	
問四	略	
問五	略	

問題四

出題意図

古文を素材とし、古典文学の表現内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することができる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	親しき疎き	
問二	略	
問三	略	
問四	(例) 見るたびに昔が思い出されて涙がちになってしまう白菊の花であるよ。その白菊の花も、(晩秋の夕露に) しっとりとしているが、昔を恋しく思っ泣いているのだろうか。	
問五	A	略
	B	略

問題五

出題意図

漢文を素材とし、古典文学の表現内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することができる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	①	略
	②	略
	③	略
問二	①	またこれをゆるさず。
	②	(例) 全く (鬼の申し入れを) 聞き入れようとしなかった。 全然 (鬼の申し入れを) 受け入れようとしなかった。 二度と (鬼の申し入れを) 受け入れようとしなかった。
問三	A	鬼
	B	一羊
問四	略	
問五	略	

令和四年度入学試験問題

国語

注意事項

1. この問題用紙は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 解答用紙は問題用紙とは別になっています。解答はすべて解答用紙の指定されたところに記入しなさい。それ以外の場所に記入された解答は、採点の対象となりません。
3. 受験番号を解答用紙の指定されたところへ正しく記入しなさい。
4. 問題用紙の落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、監督者に申し出なさい。
5. 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、破いたり切り離したりしてはいけません。
6. この問題用紙は持ち帰ること。

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

一 次の設問に答えなさい。(解答は所定の解答欄に記入すること)

問一 次の1〜5の傍線部の漢字のよみがなをひらがなで記しなさい。

- 1 朝はいつも駄まで渋だ。
- 2 雑草が生い茂る。
- 3 この料理は素人には難しい。
- 4 優しい口調で話す。
- 5 新しい図書館の愛称を募集する。

問二 次の文中には、漢字表記が文脈上間違つて使われている箇所が五ヶ所ある。正しい漢字をそれぞれ楷書で書きなさい。

早春のやわらかな風が拭き渡る。道沿いには満会の桜並木、そばの井土には澄んだ水が湧く。松本城から遠謀する残雪鮮やかな北アルプスと桜の対比は、まるで一服の絵画のようだ。新年度が始まる頃の松本の景色である。

前 期 日 程

国 語

問題用紙15枚中 2枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

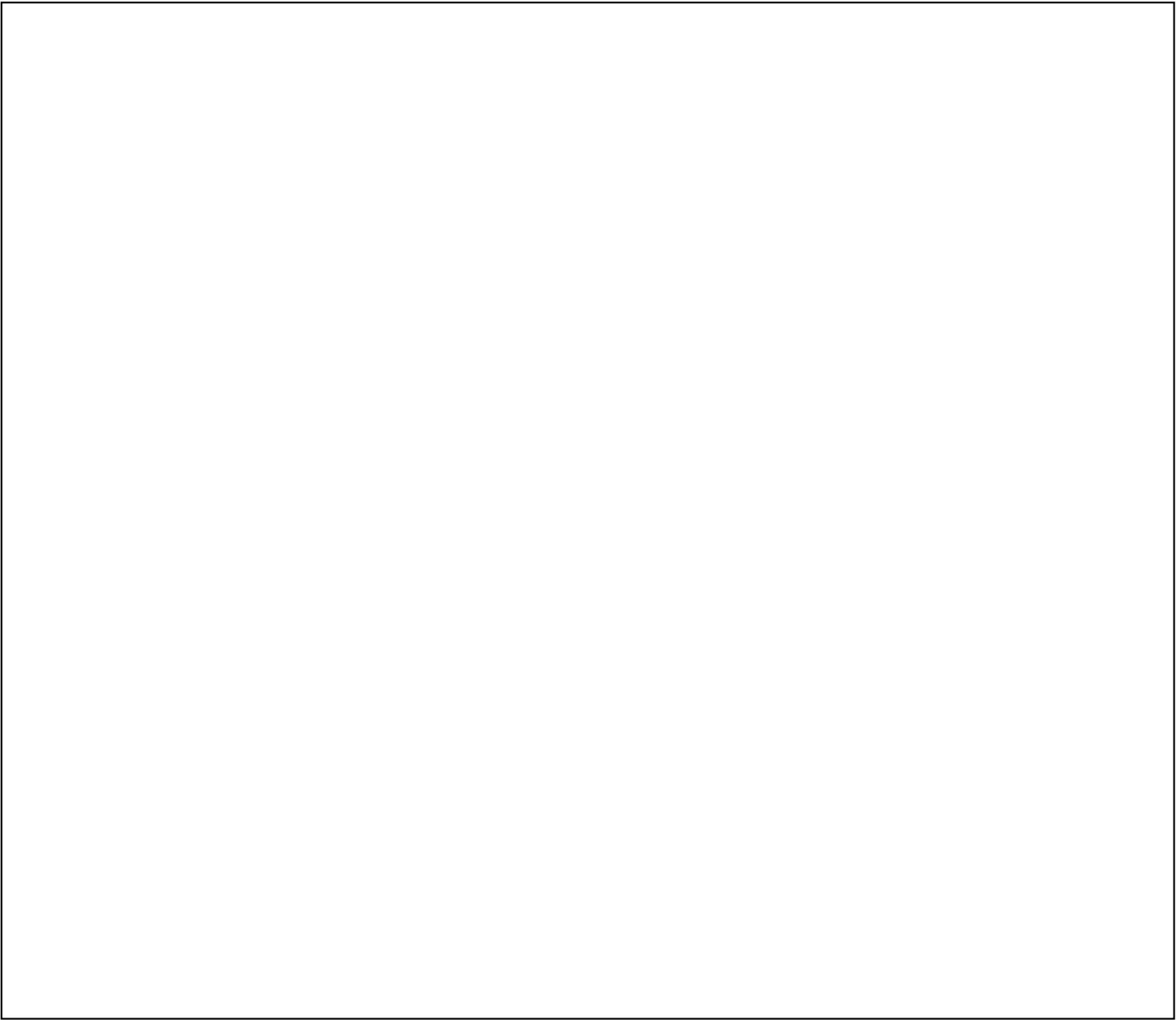
二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(解答は所定の解答欄に記入すること)

前期日程

国語

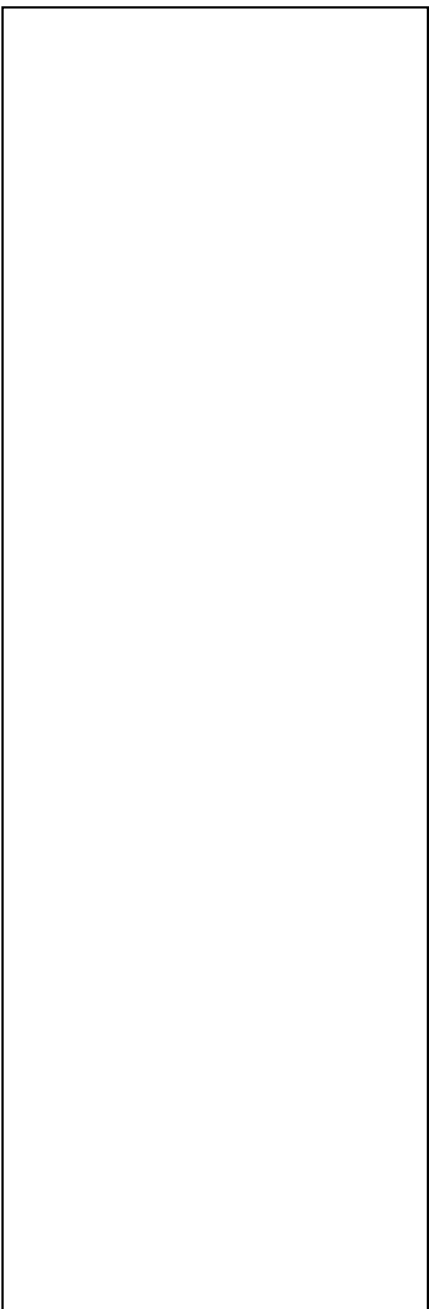
問題用紙15枚中 3枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験



前期日程
国語
問題用紙15枚中 4枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験



(畑中章宏「わざとらしさ」『図書』岩波書店、二〇二一年五月号、二八～三三頁より。

なお、本文は一部表記を変更している。)

【注】

※折口信夫：一八八七（明治二〇）年～一九五三（昭和二八）年。民俗学者、国文学者、国語学者。

※白川静：一九一〇（明治四三）年～二〇〇六（平成一八）年。漢文学者、東洋学者。

前期日程
国語
問題用紙15枚中 5枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

- 問一 A1 および A2 には「態むぎと」の語義についての『広辞苑』からの引用が示されている。実際の『広辞苑』の記述は左の通りである。筆者は左の①～⑤の語義の中から一つを選び B に記しているが、それはどれか。次のア、イの問いにそれぞれ答えなさい。
- ア 本文の文脈に即して最も適切なものを左の①～⑤の中から選びなさい。
- イ それを選んだ理由を述べなさい。

(新村出編『広辞苑』岩波書店、第七版第四刷、二〇二二年、三一六四頁より。)

問二 本文中の 枠で囲われた部分には、……線で示しているように「しかし」が頻出しているが、筆者がここでこの言葉を使うのはなぜだと考えられるか。接続詞の働きに注目して簡潔に説明しなさい。

問三 傍線部 C 「わざとらしさ」は褒められこそすれ、決して煙たがられるべきものではなかったはずなのである。「とあるが、なぜ「わざとらしさ」は煙たがられていなかったのか。その理由を簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部 D 「こんな苦渋」とあるが、どのようなことか。「こんな」の指示内容を明らかにしながら簡潔に説明しなさい。

前期日程
国語
問題用紙15枚中 6枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

問五 傍線部E「悪口の色に染められたままにある『わざとらしさ』とはどのようなことか。本文全体をふまえて簡潔に説明しなさい。

問六 本文において筆者は、自身の論を展開する過程で、『広辞苑』以外にも折口信夫「日本芸能の話」「翁の発生」や白川静『常用字解』といった人名・文献名を複数挙げているが、これらを筆者が挙げているのはなぜだと考えられるか。簡潔に述べなさい。

前期日程

国語

問題用紙15枚中 7枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

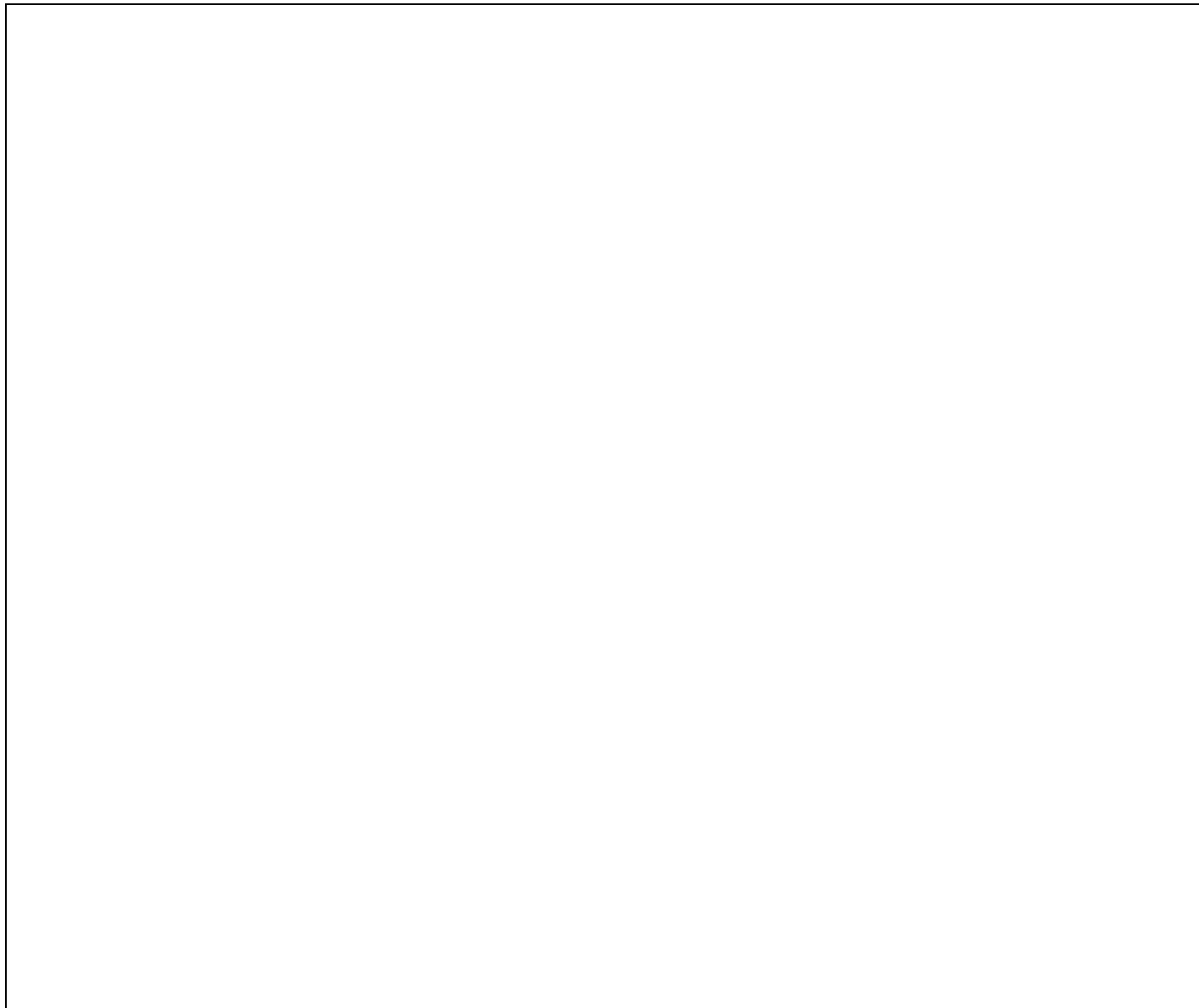
三 次の文章は一九二一年に発表された佐藤春夫「蝗の大旅行」の全文であり、登場人物である「僕」は一九二〇年頃の経験を回想している。本文を読んで、あとの問いに答えなさい。(解答は所定の解答欄に記入すること)

前期日程

国語

問題用紙15枚中 8枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

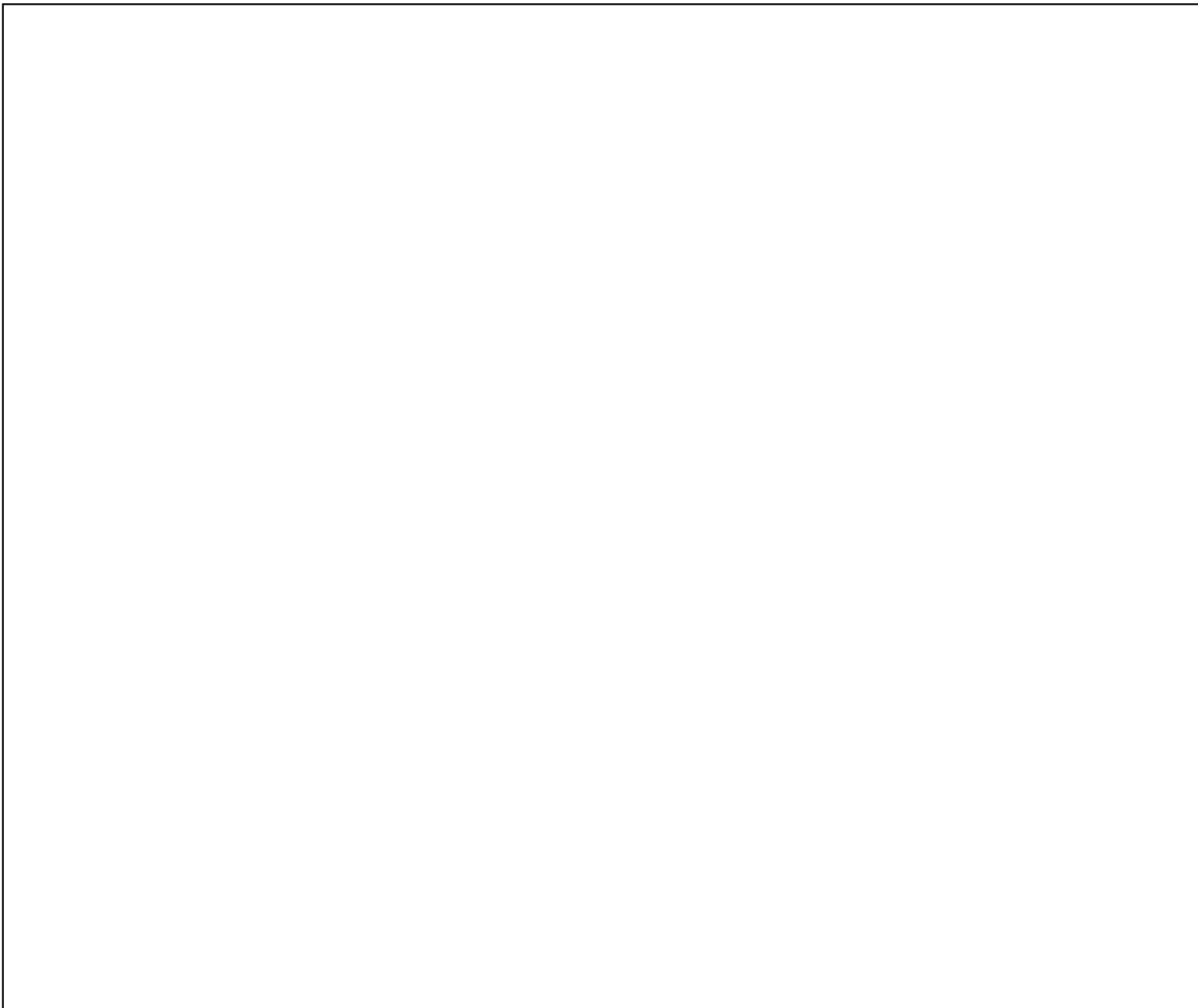


前期日程

国語

問題用紙15枚中 9枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験



前期日程
国語
問題用紙15枚中 10枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

(佐藤春夫『佐藤春夫台湾小説集 女誠扇綺譚』中央公論新社、二〇二〇年、七九〜八四頁より。

なお、本文は一部表記を変更している。)

【注】

※南の方：台湾の南部のこと。台湾は南北に長い島である。

※茉莉、鷹爪花、素馨：いずれも強い芳香のある花。

※内地：ここでは主に本州等のことを指す。

※阿里山：台湾の中部にある山。

※嘉義：台湾中西部の都市。

※赤帽：駅構内で旅客の荷物を運ぶのを職業とする人。

※天鵞絨：織物の表面を毛羽でおおった織物。

※台中：台湾中部のこと。台湾では北部を台北、中部を台中、南部を台南と呼ぶ。

※二八水：台湾中西部の地名。

※基隆：台湾北端の港湾都市。

※日月潭：台湾中部の山中にある湖。

前期日程
国語
問題用紙15枚中 11枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

問一 囲み線部 について、以下の設問に答えなさい。

A 「僕」は台湾へ今にももう一度出かけて行きたいという思いを抱いている。そうした思いを読み取ることができる表現上の工夫について、本文箇所と言及しつつ説明しなさい。

B 「僕」は台湾で過ごした経験を回想している。この回想の特徴について、人間の身体感覚に関する表現に注目しつつ説明しなさい。

問二 傍線部①「可笑^{おか}しさが心からこみ上げて来て」とあるが、「僕」はなぜ「可笑しさ」を感じているのか。その理由について、本文の内容に即して説明しなさい。

問三 囲み線部 においては、推量を意味する「であろう」や、断定はできないが可能性のあることを意味する「かも知れない」といった文末表現が複数箇所で見出されている。「僕」がこのような文末表現を使用している理由を、囲み線部 の内容を踏まえて説明しなさい。

問四 傍線部②「僕も旅行家ですが」とあるが、ここで「僕」は自身と「蝗」とをいずれも「旅行家」として捉えている。「僕」が見出している自身と「蝗」との共通点を説明しなさい。

問五 二重傍線部「本当の童話」とあるが、これはどのような童話であると考えられるか。二重傍線部より後の本文の内容を踏まえ、「本当の」という言葉の意味が分かるように説明しなさい。

前期日程
国語
問題用紙15枚中 12枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

四 次の文章は、山宮に幽閉された女について、古代中国の故事に基づき書かれた説話である。
これを読んで、あとの問いに答えなさい。(解答は所定の解答欄に記入すること)

(池田利夫編『唐物語』 古典文庫、一九七二年、二九〇三二頁より)

なお、本文は一部表記等を変更している。

【注】

※楊貴妃…人名。唐の玄宗皇帝の妃。

※李夫人…人名。前漢の武帝の夫人。

※重陽の宴…重陽の日(旧暦九月九日)に催された宮廷行事。

前期日程

国語

問題用紙15枚中 13枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

問一 傍線部①「思へりける」の主語を本文中から抜き出しなさい。

問二 傍線部②「我が身のためはうらやましくおぼえて」とはどういうことか、「我が身のため」の内容を明らかにして説明しなさい。

問三 傍線部③「暮れにし」について、ここで「し」（助動詞「き」の連体形）が用いられているのはなぜか、本文の内容を踏まえながらあなたの見解を述べなさい。

問四 傍線部④の和歌を、言葉を補って分かりやすく現代語訳しなさい。

問五 本文をⅠ～Ⅳの四段落に分けたとき、文章全体の展開について、以下の問いに答えなさい。

A Ⅰ～Ⅲは、段落を追うごとに時間がどのように経過しているか、本文中の具体的な表現を取り上げながら説明しなさい。

B Ⅳは、物語全体でどのように位置づけられるか、簡潔に答えなさい。

前期日程
国語
問題用紙15枚中 14枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

五 次の文章は、主人公の宋定伯が若い頃に南陽なんようの中心地である宛えんの街へ行く途中で「鬼」と出会あい、共に向かうことになった道行きの場面である。あとの問いに答えなさい。(解答は所定の解答欄に記入すること)

(曹丕「列異伝」、魯迅輯録『魯迅輯録古籍叢編 第一巻』人民文学出版社、一九九九年、一三一～一三二頁。
なお、本文は一部表記等を変更したうえで、訓点等の表記を補っている。)

【注】

※漕漕・咋咋…いずれもオノマトペ。「漕漕」は「ザブザブ」、「咋咋」は「ギャーギャー」。

※宛：「宛」は中国の地名。当時の南陽郡の中心地。

※銭千五百…当時の金額としては高額であった。

前期日程

国語

問題用紙15枚中 15枚目

令和四年度 信州大学教育学部入学者選抜試験

問一 傍線部①「逢」鬼」とあるように、主人公は夜間に「鬼」と出会った。この「鬼」はどのような特徴を持った存在か。その特徴を三つ取り上げて説明しなさい。

問二 傍線部②「不」復聴」之」について、①すべて平仮名で書き下し、②「之」が何を指し示すかを明らかにして現代語訳しなさい。

問三 二重傍線部A Bの「之」は、それぞれ何を指し示すか。本文から抜き出しなさい。

問四 傍線部③「唾」之」について、主人公がこのような行動をとったのはなぜか。その理由を説明しなさい。

問五 波線部「共行」行」のように、主人公と「鬼」とが共に移動する表現が繰り返し登場する。このように類似的表現を繰り返し用いることの表現効果について、以下の資料を参照してあなたの考えを書きなさい。

『伊勢物語』第九段